

# もっと、 こども まんなか

## education column

いま、学校教育を取り巻く環境は、大きく変わってきています。こどもたちの未来のため、教育DXの推進や不登校児童生徒への支援、部活動の地域移行、官民一体型学校など、武雄のこれからの教育について、一緒に考えてみませんか？



## VOL.07 こどもの貧困対策 「こどもの笑顔コーディネーター」の役割とは

### すべてのこどもたちに夢や希望を

武雄市の「こどもの笑顔コーディネーター」は、教員OBや保健師の資格を持つ市職員が務めています。こどもやご家庭の実態把握には、多くの時間を要するものです。武雄市独自の取り組みとして「進級したり担任の先生が変わったりしても、支援を途切れさせない」という思いがあります。切れ目のない支援を提供するために、就学前から高校卒業までの「伴走型支援」として、私たちコーディネーターが配置されています。

私たちの役割を一言で表すなら「どんな家庭環境のこどもたちでも、夢や希望を持ち続けられるよう勇気を与えること」です。貧困対策の対象となるこどもたちは、夢や希望を描けなくなっているケースが多いと感じています。私に関わっているこどもたちも、7割ほどが不登校気味という印象です。学校に行っても勉強する気が起こらず「どうせ頑張っても」と、諦めの気持ちを抱えていることも少なくありません。

### こどもと保護者の自己肯定感を高める

支援の前段階として、こどもやご家庭との信頼関係づくりが欠かせません。一朝一夕にはいきませんが、機会あるごとに声かけを重ねるよう心がけています。少しずつ話をしてくれるようになったら、そこから本当の支援の始まりです。たとえば、こどもが学校に来ることができたら、その日の気分で「表情シール」をノートに貼り、学校に来た時間を書き込ませます。そして「教頭先生にノートを見せておいで」と伝えます。すると、「Very good!」とか「会えて嬉しい」などの温かいコメントをもらえる。こうした小さな成功体験の積み重ねが、こどもたちの自信につながっていきます。

保護者とは、私が開催している「保護者会」で定期的にお会いしています。経済的に苦しいご家庭ほど、社会から孤立してしまい、子育てに必要な情報を得られないという現状があります。

事前に進学に関する情報や利用できる支援制度などを調べておき、保護者会でお伝えする。福祉課や社会福祉協議会、ときにはこども食堂を運営している団体などにも参加してもらいます。有益な情報を届けられれば「保護者会に参加した甲斐があった」と思ってもらえます。私たちと関わることで、少しずつご家庭の状況が改善していく。そのようにして、信頼関係を築けていると思います。

### 社会の中で、協力し合える大人になって欲しい

最終的な目標は、貧困の連鎖を断ち切ることです。そのために、校外学習などを通じてさまざまな体験の場を提供するよう心がけています。普段の生活ではなかなかできない体験を通して、こどもたちの視野を広げ、夢や希望を育んでいきたい。

そして、これは個人的な思いなのですが、困ったときには「助けてください」と言えて、周りからかわいがられる大人になって欲しい。

私自身、7年前に最初の「こどもの笑顔コーディネーター」に就任したときは、前例もマニュアルもありませんでした。培ってきた教員経験を頼りに試行錯誤で進んできましたが、ひとりでは何も成し遂げられなかったと思います。「こどもたちに必要な支援は何か？」を考え続け、関係機関や知人に「手伝ってください」とお願いしてきたからこそ、今があります。こどもたちにも将来、周りと協力・連携しながら、社会に貢献できる人になって欲しい。そうすることで、貧困の連鎖はきっと、断ち切れると信じています。



武雄市教育委員会  
こどもの笑顔コーディネーター  
中野 春男